

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。  
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

|         |    | チェック項目                                                                                                                        | はい   | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など                                                                                                                                                     |
|---------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                                                                                    | 83%  | 17% | 発達段階や特性に応じた活動の実施にあたり、空間を仕切ることができる。<br>支援する上でより広いスペースがあると良いとすることがある。                                                                                                     |
|         | 2  | 職員の配置数は適切であるか                                                                                                                 | 50%  | 17% | 未記入：33%<br>10名の利用児童に対して3～4人の配置となっている。配置基準（定員10名まで2人以上）は満たしているが、児童2名に対して職員1名又は児童の状況により1対1の対応が必要と感じる。送迎や実習生施見学引率等で職員配置が更に手薄とすることがある。                                      |
|         | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか                                             | 100% |     | 車椅子の利用児童や視覚障害の利用児童も生活しやすいよう、スロープの設置や配色等の配慮がなされている。<br>視覚支援が取り入れられている（写真カードの活用等）                                                                                         |
|         | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか                                                                          | 100% |     | 指導訓練室とトイレが近く、見守りや介助がしやすい。<br>所庭が近く外遊びがしやすい。<br>窓が南に面しており、明るく開放感がある。日差しが強い時は遮光カーテンで調節可能。<br>毎日、玩具等の消毒を行っている。                                                             |
| 業務改善    | 5  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか                                                                                  | 83%  | 17% | 会議等で目標の確認や振り返りを行っているが、全職員が参加できていないことが多い。                                                                                                                                |
|         | 6  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか                                                                | 100% |     | 年に1回保護者向けアンケートを実施している。<br>意見箱を設置している。<br>各事業やサービス向上研修委員会を中心に、アンケート結果の分析や改善の必要性等を検討している。                                                                                 |
|         | 7  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                   | 100% |     | 各事業やサービス向上研修委員会を中心に、事業所向け自己評価表と保護者向け評価表の結果の分析や改善の必要性、改善内容を検討し、ホームページに掲載している。                                                                                            |
|         | 8  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                                                                                               | 83%  | 17% | 第三者評価委員による外部評価を実施しているが、改善に繋がっているという点では不十分と感じる。                                                                                                                          |
| 適切      | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                                                                                  | 100% |     | 内部研修の実施と外部研修への参加の機会がある。<br>外部研修参加時は、復命書の作成や回覧を行ったり伝達研修を行っている。                                                                                                           |
|         | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか                                                                       | 100% |     | 個別支援計画の見直し時期（6ヶ月の期間内）でアセスメントを実施している。<br>アセスメントは、児童発達支援管理責任者の他、必要に応じて専従職員や看護師、栄養士が同席している。<br>アセスメントの結果や、利用時のお子さんの状況をふまえながら、サポート会議を実施し、児発管を中心に関わる複数の職員で、個別支援計画の見直しを行っている。 |
|         | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                                                                                   | 100% |     | 共通のアセスメント様式の中に社会性に関する項目を設けている。                                                                                                                                          |
|         | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 100% |     | 各項目に関して、お子さんや家庭の実態に応じた支援内容を設定している。                                                                                                                                      |
|         | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか                                                                                                        | 100% |     | サポート会議を実施し、関わる職員で意見を出し合いながら計画を作成することで、計画に沿った支援につながっている。                                                                                                                 |

|                                                          |    |                                                                                   |      |     |                                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供                               | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                                             | 100% |     | 個別支援計画を基に、専従職員が中心になりながら複数の職員でプログラムの立案を行っている。                                                                                                    |
|                                                          | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                                           | 100% |     | 粗大運動、微細運動、認知学習活動等、様々な活動を取り入れている。<br>子どもたちが楽しみながら取り組めるような活動を考えて実施している。                                                                           |
|                                                          | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか                                     | 100% |     | 子どもの状況に応じて全体集団、小集団、個別活動を実施している。                                                                                                                 |
|                                                          | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                                   | 100% |     | 朝に職員の打ち合わせの時間を設けている。<br>打合せに参加できない職員もいるため、申し送り簿を作成し内容を共有できるようにしている。<br>各職員の配置をホワイトボードで確認できるようにしている。                                             |
|                                                          | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                              | 100% |     | 夕方に職員の打ち合わせの時間を設けている。<br>打合せに参加できない職員もいるため、申し送り簿を作成し内容を共有できるようにしている。<br>専従職員を中心に、その日のお子さんの様子や、変化、成長等について振り返りをしている。                              |
|                                                          | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                                             | 83%  | 17% | 支援内容やお子さんの様子については、サービス提供記録票に記載してるが、それを検証・改善につなげているかという点については不十分と感じる。                                                                            |
|                                                          | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか                                            | 100% |     | 個別支援計画の見直し時期（6ヶ月の期間内）のアセスメントでモニタリングも実施している。<br>サポート会議を実施し、アセスメントの結果やこじかでのお子さんの様子を共有してモニタリングした上で、個別支援計画の見直しを実施している。                              |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                                | 100% |     | 児童発達支援管理責任者、専従職員、その他主にそのお子さんと関わる職員が参加してる。また、他職員との情報の共有や支援に等に関する確認を行った上で参加している。                                                                  |
|                                                          | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか                                            | 100% |     | 保健師、併用先（保育所、こども園、他事業所）、計画相談支援事業所等と連携を図りながら支援を行っている。                                                                                             |
|                                                          | 23 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 83%  |     | ※未記入17%<br>医療ケアが必要なお子さんについては、『通所利用に関わる看護・医療情報提供書』（主治医による指示書）を提出していただき、それに従て医療ケアを実施している。<br>親御さんの要望に応じて、医療ケアを必要とするお子さんの移行先（保育所、学校等）への情報提供を行っている。 |
|                                                          | 24 | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか             | 83%  |     | ※未記入17%<br>医療ケアが必要なお子さんについては、『通所利用に関わる看護・医療情報提供書』（主治医による指示書）を提出していただき、それに従て医療ケアを実施している。<br>協力医療機関との連絡体制を整えている。                                  |
|                                                          | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                    | 100% |     | 保育所等訪問支援事業を通しての連携を図っている。<br>併用先へ行きお子さんの様子を見学をしたり、併用先の先生に来ていただくことで、情報の共有や相互理解が図られている。<br>必要に応じて、併用先との連携会議を行っている。                                 |
|                                                          | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                                | 100% |     | 就学相談会へ出席している。<br>以降先の学校へ引継ぎを行っている。                                                                                                              |
|                                                          | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                         | 100% |     | 地域生活支援センターで実施する研修を受けている。<br>外部の理学療法士の先生に月1回来所していただき、助言を受けている。<br>児童発達支援センターとして研修を実施している。                                                        |
|                                                          | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                         | 100% |     | 複数の保育所と交流行事を行っている。（キッズつぼみ、中田保育所）<br>次年度は、居住地域の保育所等との交流を個別で図れるよう検討中。                                                                             |
|                                                          | 29 | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか                                          | 67%  | 33% | 自立支援協議会の相談支援部会の部会員として、事業所内の担当職員が参加している。                                                                                                         |
|                                                          | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                                   | 100% |     | サービス提供記録票や、送迎時に、日ごろのお子さん於状況を伝え合う事ができている。<br>お子さんの状況、ご家族の希望に応じて、随時面談を実施し、対応等について共通理解を図るよう努めている。                                                  |

|            |    |                                                                                                       |      |     |                                                                                                                                                 |
|------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか                                           | 100% |     | 年に1回保護者向けのペアレントプログラムを実施している。                                                                                                                    |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                                                           | 100% |     | 契約時に説明を行っている。                                                                                                                                   |
|            | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 100% |     | 4月に療育説明会を実施し、5領域についてや、主な支援内容について保護者へお伝えしている。<br>個別支援計画について、現在の状況（モニタリング）と今後の目標、支援内容等の説明を行い、同意を得ている。                                             |
|            | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                                                        | 100% |     | 半年に1回のアセスメント時の他、お子さんの状況やご家族からの希望に応じて面談の時間設けている。また、親子参加等を通して、お話しする機会がより多く持てるようにしている。必要に応じて、他の相談期間をご紹介しますこともある。                                   |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                                                         | 83%  | 17% | 親子参加等で親御さん同士が顔を合わせる機会を持てるようにしている。<br>希望に応じて場所の開放をし、親御さん同士で集まれるよう支援している。                                                                         |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                           | 100% |     | 随時面談等の対応に応じられるようにしている。<br>苦情受付窓口を設置し、契約時に説明を行っている。<br>他の機関（第三者委員、宮城県社会福祉協議会福祉サービスに関する運営適正化委員会）について契約時に説明している。                                   |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                                                     | 100% |     | 月に1回こじかだよりを発行している。<br>必要に応じて連絡配信サービスを活用し、情報提供をしている。                                                                                             |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか                                                                                    | 100% |     | 個人情報の取扱いに関する同意書を作成し、契約時に説明、保護者からの同意に上で、必要な情報の使用をしている。その他は、随時保護者に確認の上使用している。                                                                     |
|            | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                                                 | 100% |     |                                                                                                                                                 |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか                                                                   | 67%  | 33% | マロニエの会（中田町内の独居老人の方の会）との交流会を実施している。                                                                                                              |
| 非常時等の対応    | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか                                  | 100% |     | 各種マニュアルを作成し、訓練や研修を実施している。<br>保護者に協力をもらい、引き渡し訓練を実施してしる。<br>災害時の対応について、しおりに記載し、利用開始前や毎年度の療育説明会で説明を行っている。                                          |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか                                                                   | 100% |     | 定期的に防災訓練を実施している。                                                                                                                                |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか                                                                    | 100% |     | アセスメントを実施する他、児童生活調査票、健康調査票、結核問診票を保護者に記載していただき、服薬、予防接種、その他健康状態を把握できるようにしている。                                                                     |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                                                 | 100% |     | アレルギー除去食の依頼書を提出していただいている。                                                                                                                       |
|            | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか                                                                            | 100% |     | ヒヤリハット、軽微、事故の項目で報告書を作成し、リスクマネジメント委員会を中心に取りまとめ、会議等で周知している。                                                                                       |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか                                                                   | 100% |     | 虐待防止委員会を設置し、マニュアルを活用しての研修やアンケートの実施等を行っている。<br>スタッフ会議等で、施設長による虐待防止に関する研修が随時行われている。                                                               |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか                           | 100% |     | 身体拘束について、年1回職員を対象に研修を実施している。<br>身体拘束に関するマニュアルを作成し、マニュアルに沿って対応している。<br>緊急時やむを得ない身体拘束を必要とするお子さんについては、児童発達支援計画の他に同意書を作成し、保護者の同意のもと実施し、実施状況を記録している。 |